

6 TT・少人数学習推進

(1) TT・少人数学習推進のテーマ

**一人一人をライト・アップ！
主体的な学びを育む TT・少人数学習**

(2) 本校の基本構想

①各教科の基礎学力の定着と向上を図るために

習熟の差が生じやすい教科、個人差が学習の過程で大きく生じやすい教科で、TT・少人数学習を推進する。本年度は、算数科をその重点教科とする。

- 算数科：4年・5年・6年において、TT教員を配置する。TTによる指導を基本とし、習熟の場面では、習熟度別の少人数学習を行う。また、重点単元では1C2T、2C3Tの等質や習熟度別の少人数学習を行う。2年・3年においては、実態に応じて適宜TTによる指導を実施する。

②児童の興味・関心や学ぶ意欲に支えられた「主体的な学習」推進のために

多様な指導形態や指導方法、専門的な知識をもった教員や外部講師による支援が効果的であると認められる教科等を中心に、TT・少人数学習を推進する

- 理科：5年・6年は専科教員（T1）による指導と一部学級担任（T2）とのTT
- 社会：3年は、専科教員（T1）による指導と一部学級担任（T2）とのTT
- 音楽：2年は、専科教員による指導
- 外国語活動：外国語担当（T1）とALT（T2）とのTT
- 教科等全般：◇地域人材活用によるTT学習
◇栄養教諭との家庭科、学級活動におけるTT学習
◇養護教諭との学級活動、保健のTT学習
◇総合的な学習の時間における3C3T、4C4Tによる課題別学習
◇体育科における2C2T、3C3T、または学年合同による学習

③生活習慣や学習習慣の定着と問題行動の未然防止を図るために

基本的な生活習慣や学習習慣の定着、望ましい人間関係の育成を目指してTTで対応する。また、一人一人のよさを複数の目で確かめ、いじめ・不登校の未然防止のための指導をチームで行う。

(3) 重点施策

重点1 実態把握からの出発

- ・学年部教員・学級担任との情報交換を密にし、学年・学級の実態、一人一人の児童の特性や学習の状況を把握し、共通理解を図る

重点2 実態に基づいたTTの展開

- ・単元や教材に対する児童の多様性に応じていくためのTTを展開する
- ・カリキュラムデザインを活用したTT重点単元の設定など計画的、系統的な推進を図る
- ・教員の専門性を生かしたTTや教科担任制を導入する
- ・一人一人の児童の主体的な学びをめざした、各教科・領域での効果的なTTの実践

重点3 評価体制の確立によるTT学習の改善

- ・基礎学力の定着と活用する力の伸びから見た評価と改善
- ・個への対応と児童の学習への意欲面から見た評価と改善

重点4 生きる力の育成を目指したTT

- ・大規模校としての特色を生かすTT学習（学年での合同少人数学習、縦割り活動）
- ・一人一人のよさや伸びを確かめ、認め、伸ばす生徒指導を機能させたTT学習